

タゴガエルの新産地

柴田 敏 隆*

New locality of *Rana tagoi*

Toshi. SHIBATA

(with 1 plate and 1 table)

タゴガエル *Rana tagoi* は岡田 (1930) によると本州の西部地方に分布し、従来東日本には分布が認められていなかった。著者はたまたま横須賀市博物館所蔵の無尾類標本を整理中、伊豆天城山で採集したアカガエル類の中に本種とみられる数個体を発見し、調査の結果これがタゴガエルであることを認め、念のため、大阪市立自然科学博物館の柴田保彦氏にこの標本の同定を依頼し、同時に大阪府岸和田市牛滝^{ウシタキ}で氏自身が採集されたタゴガエルの標本の送付を受けた。(No. 14 の個体) これと天城山にて採集の標本とを比較した所、タゴガエルであることを確認し、別に柴田氏の同定の結果も天城山採集の標本がタゴガエルであることを認められた。1961年7月、再び天城山にタゴガエルの探索におもむき、カルデラ内のシラヌダ池畔でタゴガエル一個体を採集した。(No. 11 の個体) これとは別に、伊達陸氏は 1961 年 10 月 8 日、前記天城山中シラヌダ池畔でタゴガエル一個体を採集し、横須賀市博物館に寄贈された (No. 12 の個体, Fig. 4, 5), 更に 1958年7月7日、伊豆猿山一本杉にて金田平氏が採集し、横須賀市博物館に寄贈された一個体もタゴガエルであることが判明した。(No. 5 の個体) 加えて、1961 年 8 月 29 日、著者は神奈川県丹沢山東側、一の沢のモミの林床で 1 匹のタゴガエルを採集し、写真に撮ったが、その直後逸走されて計測することができなかった (Fig. 2, 3)。

これらタゴガエルの計測値は Table 1 の通りである。

これらにより伊豆天城山及びこれに隣接する西方の猫越^{ネッコ}、猿山^{サルヤマ}方面にタゴガエルが分布棲息することは確実と見て良く、丹沢山一の沢周辺では一個体の記録例に過ぎないが、恐らく普通に棲息するものと考えられる。

大阪市立自然科学博物館では福島県尾瀬ヶ原にて採集したタゴガエルの標本を所蔵されており、今回、柴田氏の御好意により、その標本を計測することができた。(No. 13 の個体)

これらに依っても、タゴガエルは東日本の山地にもかなり広く分布するものではなからうか、従来、本種が、比較的数少ない、珍しいものとされ、その記録も少なかったのは、調査不充分であったことと共に、本種の習性からして比較的発見しにくかったものと考えられる。

因みに、著者は天城山及び丹沢山共に、本種の棲息地と同じ場所で、ヤマアカガエル *Rana temporalia martensii* を採集している。

近年、日本のアカガエルの分類については、再検討がなされ、種々の論義がなされているようであるが、少くもこの場合のタゴガエルとヤマアカガエルは、特に咽喉部の大理石状斑紋 (タゴガエル) 不規則黒点状斑紋 (ヤマアカガエル) とは明瞭に区別され、移行的な不明瞭なものはみられなかった。

* Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan.

Table 1 External measurements of *Rana tagoi* (in mm)

No.	Body L.	Tibia L.	T.L./B.L. (%)	Head L.	Head W.	H.L./H.W. (%)	locality	Date	Note
1	34.4	19.2	5.6	10.4	12.6	8.2	静岡県伊豆天城山水生地	Aug. 3, 1954	
2	27.8	15.5	5.6	9.0	10.0	9.0	"	"	
3	25.1	13.4	5.3	7.3	9.6	7.7	"	"	
4	33.4	19.4	5.8	10.0	11.5	8.7	" 天城山八丁池	July 26, 1955	
5	28.1	16.5	5.9	9.9	10.3	9.6	" 畔伊豆猿山一本杉	June 7, 1958	金田平氏採集
6	46.8	24.9	5.3	14.7	17.7	8.3	" 天城山沼の川	Aug. 7, 1958	
7	46.6	23.2	5.0	14.2	16.7	8.6	" "	"	
8	39.6	19.3	4.9	10.6	13.5	7.9	" "	"	
9	37.7	20.0	5.3	11.9	13.2	9.0	" "	"	
10	35.4	17.6	5.0	11.3	12.3	9.2	" "	"	
11	32.3	18.8	5.8	10.2	10.7	9.5	" 天城山しらぬだ池	July 26, 1961	A
12	41.0	23.0	5.6	13.3	14.2	9.4	" "	Oct. 8, 1961	伊達睦氏採集 A
13	41.2	21.3	5.2	12.0	14.2	8.5	福島県南会津郡檜枝岐尾瀬ヶ原	Aug. 25, 1961	日浦勇氏採集 大阪自然科学博蔵 A
14	46.5	25.2	5.4	14.4	16.2	8.8	大阪府岸和田市牛滝	May 18, 1961	柴田保彦氏採集 A

註 1) Head L. は Liu (1950) の方法に依った。

註 2) A. は Alcohol, 他は Formalin 漬標本。

小文を草するに当って、同定、資料提供及び懇切なる御教示を給わった大阪市立自然科学博物館学芸員柴田保彦氏及び標本を寄贈して下さった金田平、伊達睦の両氏に厚く御礼申しあげます。

Résumé

According to Y. OKADA (1930), *Rana tagoi* has so far been found distributed only in the western part of Honshu, but never in the eastern part.

However, since 1954, the author has often collected the species at Mt. Amagi, Izu peninsula, and has also observed and photographed it at Mt. Tanzawa, Kanagawa prefecture.

Moreover, in 1961, Mr. M. Date also collected the species at Mt. Amagi, Izu peninsula. The specimen was donated to Yokosuka City Museum.

The measurements of the specimens collected are shown in table 1.

From these facts we can conclude that *Rana tagoi* definitely occurs around Mt. Amagi, Izu peninsula.

Mr. Y. Shibata, Osaka Museum of Natural History, also reported in a letter to the author that *Rana tagoi* was collected at Oze swamp, Fukushima prefecture, on Aug. 23, 1961, and donated to the museum.

Accordingly, *Rana tagoi* is probably spread widely over the eastern part of Honshu, but has not been found by most naturalists up to now because of its secretive habits.

参 考 文 献

- 秋田一貫 1953: 春日山のタゴガエル・採と飼 15(5): 151~152.
市川 衛 1951: 蛙学, 裳華堂: 239.
大内 準 1951: 英彦山のタゴガエルの採集と発生・採と飼 13(2): 38~45.
OKADA, Y. 1928: Notes on Japanese Frogs. Annot. Zool. Japan. 11 (4): 269~277.
岡田弥一郎 1930: 日本産蛙類総説。岩波書店。
角田 保 1911: 三重県における最近の珍奇動物, 三重生物. 10: 35~40.
長谷芳美 1961: 山口県の蛙・山口県の自然 (山口県立博). 5: 2~8.

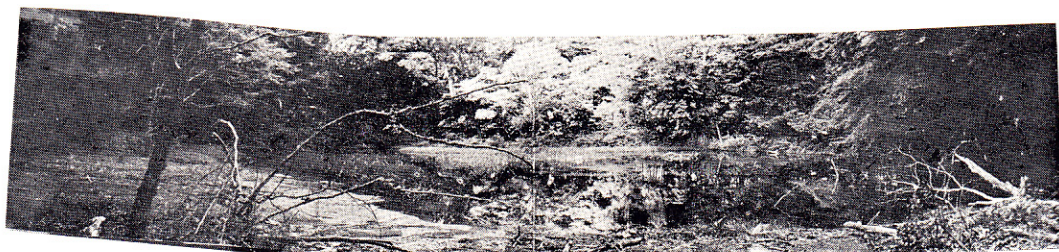


Fig. 1. タゴガエル棲息地 伊豆天城山しらぬだ池
Habitat of *Rana tagoi*. Shiranuda-ike, Mt. Amagi, Izu Peninsula.



神奈川県丹沢山一の沢にて撮影
Fig. 2. タゴガエル Aug. 29, 1961
Rana tagoi photographed at Ichino-sawa,
Mt. Tanzawa, Kanagawa pref.



Fig. 3. 同左
Same as left, showing gula.

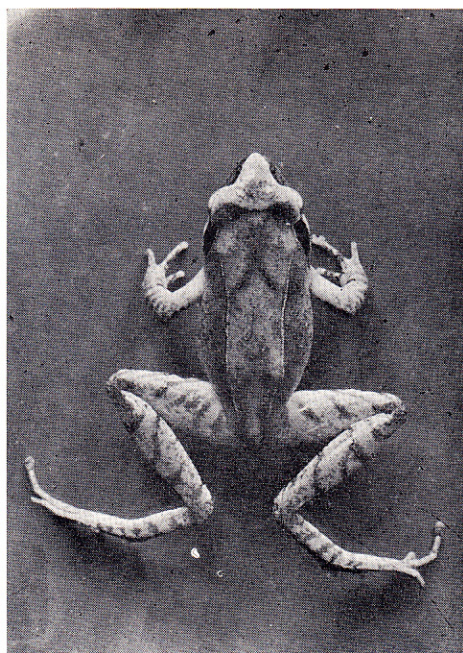


Fig. 4. タゴガエル 伊豆天城山しらぬだ池
にて伊達睦氏採集
Rana tagoi, collected by Mr. M. Date,
Shiranuda-ike, Mt. Amagi, Izu peninsula.
(Table 1, No. 12) Oct. 8, 1961,

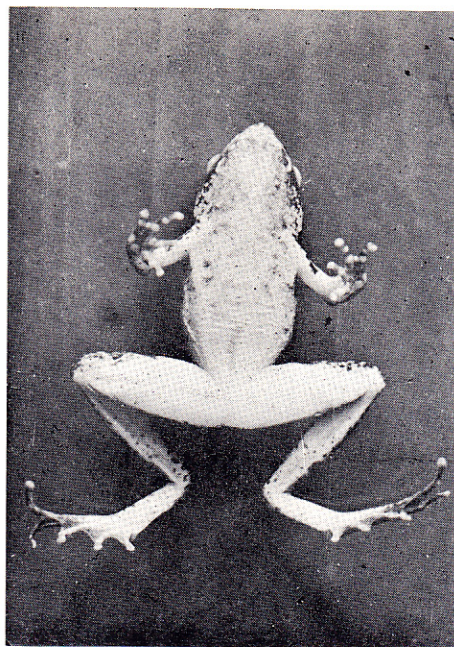


Fig 5. 同左 腹面
Same as left, Showing abdomen.